



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供：大阪市政記者クラブ)

公立大学法人 大阪市立大学

文部科学省 地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)
「地域再生と都市の大学」フォーラムを開催します

大阪市立大学は、大阪府立大学と共催で平成26年2月13日(木)に中央電気倶楽部(大阪府北区)にて「地域再生と都市の大学」フォーラムを開催します。

本フォーラムは、両大学共同事業である「文部科学省 地(知)の拠点整備事業(大学COC=Center of Community)」で取り組む地域課題のうち、「地域・文化資源」に焦点をあて、世界文化遺産や重要無形民俗文化財など豊かな資源をもちながら、林業不振などで停滞を余儀なくされている十津川村(奈良県吉野郡)と大学との交流事業について紹介し、今後の地域再生に向けて果たし得る大学の役割を考える機会とします。

あわせて、両大学の地域との連携による教育・研究の取組をポスター展示にて紹介いたします。

記

- 1 日 時 平成26年2月13日(木) 13時30分～17時
- 2 場 所 中央電気倶楽部 本館ホール
大阪市北区堂島浜2丁目1-25
<http://www.chuodenki-club.or.jp/>
- 3 内 容 [開会挨拶] 中川 眞(大阪市立大学文学研究科教授)
[講演第1部] 十津川の暮らしと魅力
更谷 慈禧(十津川村長)
西岡 潔(写真家)

世界文化遺産「熊野参詣道」やかけ流し温泉など、豊かな資源を持つ村の人々の暮らしと魅力についてご紹介します。

- [講演第2部] 林業の未来 - ^{もくいきがく}木域学の提案 -
横山 俊祐(大阪市立大学工学研究科教授)
乾 耕輔(十津川村建設課主幹)
黒川 恵史(十津川村林業振興顧問)

「木域学」とは、十津川村を「川上：森林資源・観光資源保有地」、大阪市(都市部)を「川下：木材消費地、観光ニーズ発生地」と捉え、都市と地域の関係性を観光・文化・生活など様々な面から考える機会を提供します。

[講演第3部] 文化資源による地域振興

中川 眞 (大阪市立大学文学研究科教授)

増谷 良一 (十津川村観光振興課長)

三浦 研 (大阪市立大学生活科学研究科教授)

十津川村の重要無形民俗文化財「大踊り (盆踊り)」の観光資源への展開可能性と、通常では廃材となる流木を利用し、木製品を制作する地域振興の取り組みをご紹介します。

[パネルディスカッション] 地域再生と大学

大阪市立大学教員・十津川村長・大阪市関係者ほか

司会 中村 治 (大阪府立大学人間社会学部教授)

[閉会挨拶] 宮野 道雄 (大阪市立大学副学長)

[同時開催] COC 事業のポスター展示

- 商店街の活性化を通じたまちづくりの可能性
- いのちを守る都市づくり ～いのちラボ・ネットワークによる災害知の社会実装
- 遠隔の中山間地域問題の学修と地域福利の実践
- 博物館「活動」の総合的な魅力を学ぶプログラム開発
- 生きた建築ミュージアム 2013・大阪セレクション
- アーツマネジメントによる地域交流ほか

- 4 主催 公立大学法人 大阪市立大学、公立大学法人 大阪府立大学
5 協力 十津川村
6 定員 200名 (先着順)
7 参加費 無料
8 締切 平成26年2月12日 (水)
9 申込方法 電子メール、もしくはFAXにて下記宛、住所、氏名、電話番号をご連絡のうえお申込み下さい。

【申込先】〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 プロジェクトマネジメントオフィス宛

E-mail : pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp

FAX : 06-6605-3505

[参考資料] チラシ、大阪市立大学 COC 事業について

【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学 プロジェクトマネジメントオフィス 担当：仲村

TEL : 06-6605-2068 FAX : 06-6605-3505

E-mail : pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp

ホームページ : <http://www.coc-osaka.jp/>



photo: Kiyoshi Nishioka

都市地域の再生と大学の共創

大阪府立大学・大阪市立大学共催フォーラム

日時 2014年2月13日(木) 13:30~17:00(開場13:00)

会場 中央電気倶楽部本館ホール(大阪市北区堂島浜2丁目1-25)

プログラム

開会挨拶 中川 眞(大阪市立大学文学研究科教授)

第1部 十津川の暮らしと魅力

更谷 慈禧(十津川村長)

西岡 潔(写真家)

第2部 林業の未来 ―木域学の提案―

横山 俊祐(大阪市立大学工学研究科教授)

乾 耕輔(十津川村建設課主幹)

黒川 恵史(十津川村林業振興顧問)

第3部 文化資源による地域振興

中川 眞

増谷 良一(十津川村観光振興課長)

三浦 研(大阪市立大学生活科学研究科教授)

第4部 パネルディスカッション 地域再生と大学

大阪市立大学教員・十津川村長・大阪市関係者ほか

司会 中村 治(大阪府立大学人間社会学部教授)

閉会挨拶 宮野 道雄(大阪市立大学副学長)

COC事業紹介

地域再生と都市の大学



文部科学省のCOC (Center of Community) 事業に採択された大阪市立大学と大阪府立大学が共同して、地域間交流から生まれる成果を論じ、語り合うフォーラム。大学は地域から何を学び、地域は大学から何を求めるのか。都市と遠隔地域が分断されがちな現状において、それをうまく繋ぐにはどうすればよいのか？ そこに果たす大学の役割とは何か？ 教育や研究成果がもたらすインパクトをどう社会に反映できるのか？

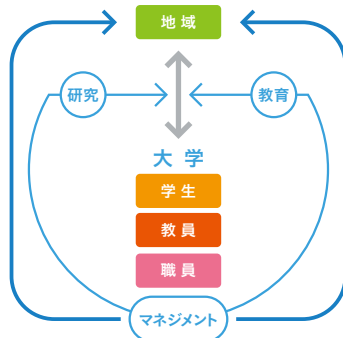
本フォーラムでは、世界文化遺産や重要無形民俗文化財など豊かな資源をもちながら、林業不振などで停滞を余儀なくされている奈良県吉野郡十津川村と大学との交流が報告されます。都市の大学と遠隔地域との交流からうまれるダイナミックな提案は、近距離地域への貢献を中心とするCOCプログラムに新たな視野とインパクトを与えるでしょう。

photo: Kiyoshi Nishioka

大阪市立大学・大阪府立大学 COC事業パネル展示

大阪市立大学と大阪府立大学が共同申請し採択された文部科学省地(知)の拠点整備事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」は、複雑化・高度化する地域課題に対応し、地域再生の拠点となるような大学機能の強化をめざすものです。両大学では、この事業を活用し、これまでの社会貢献の取組みと蓄積を活かし、地域志向教育のための学生の教育プログラム開発・導入や、地域と連携した教育・研究の充実を図り、地域再生の拠点となる大学をめざします。

フォーラム会場内に、両大学におけるCOC事業の教育、研究、社会貢献の取組みを、パネル展示いたします。大学を身近に感じていただけるきっかけになれば幸いです。



●パネル展示内容

- 商店街の活性化を通じたまちづくりの可能性
- いのちを守る都市づくり
～いのちラボ・ネットワークによる災害知の社会実装
- 遠隔の中山間地域問題の学修と地域福利の実践
- 博物館「活動」の総合的な魅力を学ぶプログラム開発
- 生きた建築ミュージアム2013・大阪セレクション
- アーツマネジメントによる地域交流
- 都市油田の有効利活用とバイオエネルギーの再利用 ほか

■COC事業について

COC事業の正式名称は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」です。大学・高専において、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を、文部科学省が支援しようとする事業です。

■会場アクセス



- 大阪駅より徒歩12分 JR北新地駅より7分
- 地下鉄四つ橋線西梅田駅より徒歩6分(堂島地下街南詰C-93番出口を出る)
- 京阪中之島線渡辺橋駅より5番出口から徒歩5分

■申込方法

電子メール、もしくはFAXにて、住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、下記までお申込みください。
締切=2014年2月12日(水)

大阪市立大学 プロジェクト・マネジメント・オフィス宛
E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp
FAX 06-6605-3505

■連絡先

大阪市立大学
プロジェクト・マネジメント・オフィス(略称PMO)
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL 06-6605-2068
FAX 06-6605-3505
E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp



大阪府立大学
地域連携研究機構 地域連携室
COC事務局
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
TEL and FAX 072-254-8309
E-mail cocinfo@ml.osakafu-u.ac.jp

大阪市立大学 COC 事業について プレスリリース参考資料

公立大学法人 大阪市立大学

プロジェクトマネジメントオフィス

■大阪市立大学 COC 事業

【大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践】

COC 事業概要

- 平成 27 年度スタートを予定している、大阪市立大学・大阪府立大学共同運営のコミュニティ再生(CR)副専攻が、この事業の中心制度となっています。1 回生から 3 回生の間に、地域関連科目を座学だけではなく、地域に正面から向き合う実習や演習形式の実践的な授業が展開されます。



- 重層化する地域課題に応じて、再生とエンパワー、セーフティネット構築を軸に据え、再生と持続可能な成長ドライブの注入を目指す【地域活性】、建築ストック、都市の空間・地理的資源を都市再生に生かすことを目指す【地理・空間】、新たなセーフティネットの構築を目指す【地域福利】、多様で複層的都市文化の再評価・活用を目指す【地域・文化資源】、安全と安心の地域づくりを目指す【環境・防災】の5分野において実践教育として推進されます。

■COC 事業第2回目フォーラム

【地域再生と都市の大学】

COC 事業の柱となる5つの重点的領域の中の、「地域・文化資源」にフォーカスをあて、都市の大学と遠隔地域との交流の成果を報告いたします。

十津川村(奈良県吉野郡)と大学は、これまで教育や研究で、学生とともに現地でのフィールドワークを織り込みながら展開してきました。

- 「木域学」とは、木を主題とした先駆的な地域学であり、生活・生産・文化・自然など、地域を形成する要素を総合的に理解し、地域資源の活用方法の発案と実践を目的としています。地域再生から木造建築や木製品の普及に有用な地域・環境デザインを包括して行く試みです。(川上＝生産地、川下＝消費地)
- 「廃材の活用」とは、地域資源である、木材だけではなく、通常は廃材となるような流木などを活用し、居住、生活支援ツールとしての再価値化する試みです。
- 「盆踊りの活用」とは、重要無形民俗文化財である「大踊り」の観光資源への展開の可能性と文化継承の新たな取り組み手法を紹介します。

世界文化遺産や重要無形民俗文化財など豊かな資源をもちながら、高齢化がすすみ、さまざまな地域課題をかかえている十津川村と大学の関わり方を考える機会とします。

近距離地域を中心とする、COC 事業にあらたな視野を提供することができると考えます。